



号外 交通安全だより



KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT

令和5年8月兵庫県くらし安全課

小学生の重傷事故発生

7月31日午後1時ころ、姫路市田寺3丁目6番14号先路上において道路を横断していた12歳の男子児童が、普通乗用と衝突し、重傷を負う交通事故がありました。

※ 横断歩道なし



～こどもを交通事故から守りましょう～

こどもは興味があると、そのことに夢中になって、周囲の状況が目に入らなくなり、危険なことの判断ができなくなります。

道路には危険がいっぱいです。一度だけではなく、何度も繰り返し教えてあげることで意識を高めていきましょう。

歩くときの

お約束！



- ① 道路を渡るときは横断歩道を渡りましょう。
- ② 信号が赤の時はとまり、青の時は右と左をよく見て、車が来ていないかを確認してから渡りましょう。
- ③ 道路を横断中も、右と左をよく見て、車が来ていないかを確認しましょう。
- ④ 道路や車のそばでは、絶対に遊ばないようにしましょう。
- ⑤ 道路には飛び出さないようにしましょう。

運転するときは「かもしれない運転」を！

捉えた対象や状況から起こりうる危険な事態を、あらかじめ予測しておくことで事故を未然に防ぐことができます。飛び出してくるかもしれない、車に気づいていないかもしれない、車の影に人が隠れているかもしれないなど、「かもしれない」を意識しましょう！



Omoiyalty Drive

検索



ご賛同
いただける方は
こちらから★

【思いやりテイドライブ】とは、「街をゆく全てのクルマが思いやりを持って運転すれば、より安全な交通社会が成り立つはず」という想いを込め、JAFが2016年より開始したプロジェクトです。「思いやり」をもった運転を呼び掛け、その賛同をひろく呼びかけることで、思いやりにあふれた交通社会を目指します。

JAFの調査によると、歩行者が待つ「信号機のない横断歩道」で一時停止しなかった車の割合は約60% (2022年調査・全国平均) という驚きの結果でした。この現状を変えるためには、私たち一人ひとりの「思いやり」の気持ちが必要です。

さあ、「Omoiyalty Drive」に賛同して、思いやりの輪を広げませんか？